



公益社団法人 東京青年会議所
政治行政政策室 担当:●● ●● TEL : 0000000000

SENSE OF MASS MESSAGES

#その発信が世界を変える
#東京をつなげよう
政治行政政策室

手をつなぐ 子どもの未来を つなぐ票



本室事業の社会背景

戦後に制定された憲法は、現在に至るまで一度も改正されていませんが、2016年7月の参議院議員通常選挙、2017年10月の衆議院議員総選挙の結果により、憲法改正に前向きな政党が両院それぞれ3分の2以上となり、タイミング等はあるものの憲法改正発議が起りうる状態となっています。憲法改正については、様々な場面で議論がなされており、メディアでも取り上げられる機会があるため、市民が触れる事も多いと言

えますが、国民投票については実施前例がない事は基より意識調査等のデータさえほとんど無いのが現状です。実際に憲法改正に関する国民投票は、運用上の問題が解決され、市民が充分に理解した上で投票とならなければ、有権者の意向を反映したものとは言えず、混乱を招く恐れが多分にあるのです。従って、国民投票に関する仕組みの理解と、有権者の意向を反映できる投票となる環境創りが求められているのです。

本室事業の内容について

政治行政政策室では、国民投票制度の理解と課題を周知・啓蒙する手段として3つの企画を実施した上でアンケートを行い、その結果を基に憲法審査会両院・総務省への政策提言に繋げました。

3つの企画 ① 動画制作・発信 ② 座談会 ③ 勉強会

① 動画制作・発信

国民投票の周知・啓蒙のツールとして動画の制作を行った。大きくは前編と後編に分け、前編では国民投票とはどんなものかや重要性を中心に、後編では国民投票の課題を中心に課題解決に関する提案等を盛り込んだ。動画についてはYoutubeを中心にその他SNSで、

できるだけ多くの方々に動画を見て頂いた。動画に関するアンケート結果からひとつの成果検証を実施する為、動画・アンケート誘導のツールとして名刺サイズのチラシを7,000枚作成し各関係団体、メンバーの家族、知人友人に配布する活動を実施した。

前編 国民投票って何？国民投票の仕組み、国民投票運動ってなに？



後編 国民投票の課題、国民投票の課題解決



② 座談会

国民投票における意識調査を含めた意見交換の場として、4地区にて地域の人などを集まって頂き座談会を実施した。国民投票についての理解がどれ位あるのかやどういった課題があるのかを制作した動画を観覧して頂きアンケートについて協力を頂いた後、国民投票に関する

意見交換を行った。様々な意見があつたが、国民投票における認知度が低い傾向もみられ、改めて現在の総務省の周知だけでは足りない事や、憲法改正についての認識はあるが国民投票という部分に関しては意識がない等の傾向が比較的強いと思われる地域もあった。

中野区委員会

2018
6/21
中野区議会

世田谷区委員会

2018
6/21
砧区民センター

台東区委員会

2018
6/23-24
台東各地区

板橋区委員会

2018
6/26
小豆沢体育館



中野区委員会座談会の様子

③ 勉強会

国民投票の有識者（国民投票法の起案、立法政策に携わる国民投票法の第一人者）である南部義典氏を講師に迎え国民投票に関する勉強会を実施した。当日は30名の東京青年会議所メンバーやオブザーバーが参加し、国民投票について分かりやすく噛み砕いて説明頂くと共に現在抱えている問題を話して頂いた。

